



「新型コロナ」県内のNPO活動への影響は？

日本国内で新型コロナウイルス感染症が広がり始めて1年が経とうとしていますが、依然として人口密集地を中心に感染拡大が続いています。和歌山県は他の都道府県に比べると感染が確認された人の数は少なめではありますが、様々な社会経済活動に大きな影響が及んでいます。NPOやボランティア活動の現場はこの1年、どうだったのでしょうか。

新型コロナの影響は多様
わかやまNPOセンターは昨年4月と7月に、県内のNPO・ボランティア団体を対象に緊急アンケートを実施しました。アンケート項目は同時期に全国一斉におこなわれたNPO向けアンケートを参考とし、新型コロナウィルス感染症の拡大が団体の運営にどのような影響が及んでいるのか、求められている支援はなにか、今後の活動の方向性はどうか、などについて答えをいただきました。これらのアンケート結果や、これまでの団体へのヒアリングなどからみえた傾向をご紹介します。

「対人」が前提の活動は厳しい状況に
介護や障害者福祉など、公的制度に基づくサービスをおこなっている団体は、利用者やスタッフへのウイルス感染をどう防ぎながら事業を継続していくかに苦しんだようです。特に昨年春から夏にかけて様々な資材が品薄になったこと、高齢の方は感染リスクが高いとされたことなどが影響したようです。障害者が働く福祉作業所では、仕事の受注減が相次ぎ、厳しい運営を余儀なくされたという声も聞かれました。

「対人」でない団体も活動は低調に
その他の分野の活動をおこなっている団体をお見ると、施設の使用停止や、いわゆる「3密」を避けるために講座やイベントの中止を余儀なくされ、全般的に活動が停滞気味になったところが多くなっています。もちろん講座やイベントの機会が減少したことや収入が減少した団体も少なくありませんが、対人の活動をしている団体よりは、影響は比較的小さい傾向にあるようです。

リモートが普及するも全国的に在宅勤務が広がるの同時に、オンライン会議ツールが一気に普及しました。
県内のNPO・ボランティア団体のなかにもパソコンやスマートフォンなどを活用したオンライン会議をおこなう動きが広がっています。しかし、ある程度のパソコンやインターネットの知識が必要になること、和歌山県内の公共施設や貸し会議室などではインターネット回線が使えないところから、本格的な普及には至っていないようです。

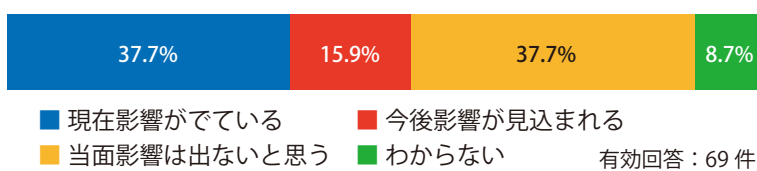
「Withコロナ」を見据えた動き
行政の「持続化給付金」や「家賃支援金」などの支援策を活用して事業を継続できているNPOも相当数あるとみられています。しかし、これらの行政の支援策にも限りがあります。こうしたなか、これまでの活動の形態を大きく変える決断をするNPOも増えていきます。例えば、これまで定期的集まっていた意見交換会や、貸し会議室でおこなっていた講座をすべてオンライン開催に移行する動きがみられるようになっていきます。

昨年7月実施のアンケート結果から ※半年が経過しているため現在は状況が変わっている可能性があります

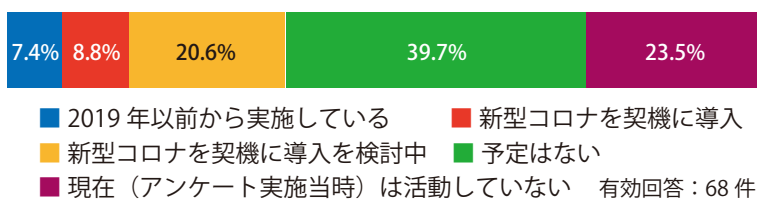
新型コロナの影響で団体の事業に影響はありましたか



団体の経営に影響はありましたか



オンライン会議はおこなっていますか



次回の「わかつく」は

古着などをマイバッグに加工する取組が世界的に注目を集めています。「バッグを作る」だけではない、というその活動とは？
2月5日付に掲載予定です。

コロナ禍の社会における市民活動を考える

2月21日(日) 14:00~16:00 Zoom配信

【定員】100名 ● 事前申し込み必要

近畿ろうきんと近畿2府4県のNPO支援センターは「近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度」を通して、「新型コロナウイルス感染拡大に対するNPOへの支援活動」、およびコロナ禍での「居場所づくりへの支援活動」や「防災・減災の取組み」を進めました。

コロナ禍による社会環境の大きな変化により「市民活動に新たに課せられた役割」や「市民活動を支援する重要性」はどう変わったのか。今年度の取組みを踏まえながら考えます。

講演

「コロナ禍の社会における市民活動を考える —『新しい生活様式』への対応を踏まえて—

講師 西川 一弘さん
和歌山大学学長補佐／紀伊半島価値共創基幹准教授

今般のコロナ禍は一種の「災害」とも受け止められています。市民活動を取り巻く環境はどう変わったのでしょうか。地域づくり・防災が専門の西川さんとともに考えます。

オンラインで開催します

●お申し込み方法 ※2月17日17時締切
メールアドレスを正確に把握するために、メールもしくはオンラインからの申し込みのみとさせていただきます。
メールでのお申込み▶ info@wnc.jp お名前、ご所属先、視聴URLを受信するメールアドレスをお知らせください。
オンラインでのお申込み▶ 右のQRコードからお申し込みください。(https://forms.gle/VYngxT8uBQJcPyGp7)
※いただいた個人情報は本シンポジウムの運営以外の目的には使用しません。

パネルディスカッション

コロナ禍での災害支援ネットワークの取組み

【しがNPOセンター】事務局長 西川 実佐子さん

コロナ禍での特別定額給付金を活用した寄付の呼びかけ

【きょうとNPOセンター】常務理事 平尾 剛之さん

コロナ禍での居場所づくりへの支援活動

【コミュニティ・サポートセンター神戸】スタッフ 山村 弘美さん

- お申し込み時にお知らせいただいたメールアドレスに、視聴URLをお送りします。
- あらかじめZoomをインストールした、インターネットに常時接続できるパソコンからご参加ください。
- Zoomの操作に関するご質問にはお答えできませんのでご了承ください。
- シンポジウムの「録画」「録音」は固くお断りします。



【主催】近畿労働金庫 【企画・運営事務局】わかやまNPOセンター ☎073-424-2223 (火曜～金曜の10時～17時)
【共催】しがNPOセンター、奈良ストップ温暖化の会、きょうとNPOセンター、大阪ボランティア協会、わかやまNPOセンター、シンフォニー、コミュニティ・サポートセンター神戸